

6. 慢性呼吸不全患者に関する研究

研究分担者 坪井知正 国立病院機構南京都病院 院長

研究要旨

長期 NIV 患者に関して初年度の入院の有無が予後に影響するかどうかの研究で、初年度の入院がない群で予後良好であることが判明した。長期 NIV 患者において睡眠導入剤ゾルピデムが NIV 下の睡眠及び翌日日中の自覚症状に及ぼす影響に関する研究で、ゾルピデムが睡眠構築・ P_{tCO_2} のみならず翌日の疲労感等の自覚症状を改善することが示された。長期酸素療法患者における血液ガスでの pH - $PaCO_2$ 平面が予後予測に有効であるかどうか調べた研究で、 $PaCO_2$ 単独より pH - $PaCO_2$ 平面上の分布を用いた解析がより予後を判定できることが分かった。

A. 研究目的

慢性呼吸不全患者に関して何らかの影響を及ぼす可能性のある事象に関して調査すること。

B. 研究方法

後ろ向き研究 1、前向き研究 2

C. 研究結果

要旨に記載した通り。

D. 考察

一般論と異なる結果が得られた。

E. 結論

何事もエビデンスがすべてである。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 作成中

2. 学会発表

1) 要旨に記載した 3 つの研究は 2019 ヨーロッパ呼吸器学会で発表した

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

